

中間報告まとめ

(2023年4月1日～9月30日活動分)

助成先一覧

①環境保全活動 12件

特定非営利活動法人 チャウス
特定非営利活動法人 宮島ネットワーク
認定特定非営利活動法人 神奈川海難救助隊
特定非営利活動法人 湘南クリーンエイドフォーラム
認定特定非営利活動法人 河北潟湖沼研究所
特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
瀬戸内海宇治島クラブ
特定非営利活動法人 エシカルプロジェクト
公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金
NPO法人 ひらかた生物飼育部LABO
一般社団法人 くりはらツーリズムネットワーク
特定非営利活動法人 ジョイライフさやま

②環境教育・研究活動 8件

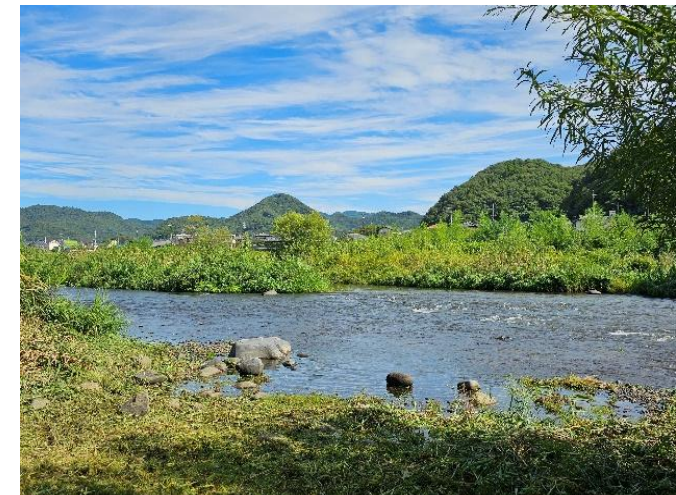
認定特定非営利活動法人 びわ湖トラスト
認定特定非営利活動法人 とす市民活動ネットワーク
公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
小泉ユニバーサルビーチユニット
特定非営利活動法人 こもれびの里
一般社団法人 みんなでびぜん
TeamJIN「仁」
特定非営利活動法人 吉里吉里国

③「食」課題解決・「食」支援に関わる活動 2件

特定非営利活動法人 フードバンクさが
特定非営利活動法人 百菜劇場

チャウス（群馬県）

活動内容	下記の活動に関係する準備、関係団体との調整など ※実施日は11月上旬より ・サケプログラム（サケの遡上～サケの卵の配布～育てたサケの稚魚放流 ※環境学習・清掃活動含む）の準備 ・ヤマメプログラム（ヤマメの卵の配布～育てたヤマメの稚魚放流 ※環境学習・清掃活動含む）の準備 ・地域環境発展プログラム（イワナの卵の直まき放流 ※環境学習・清掃活動含む）
活動実績	【ピストン釣り教室（川の生物環境調査）】を開催予定していたが、数日前からの台風接近等に伴う大雨により、増水のため開催当日の朝に中止を判断。 第1回 2023年9月10日（日）9：00～12：00 ピストン釣り教室①（川の生物環境調査） 第2回 2023年9月10日（日）13：30～16：30 ピストン釣り教室②（川の生物環境調査）



宮島ネットワーク（広島県）

活動内容	①アサリ浜の育成事業 ②アマモ場育成実験事業 ③宮島海岸清掃
活動実績	①アサリ浜の育成事業 エイの食害を防ぐ覆い網の交換：前年度3月に交換。 第3回アサリ浜の清掃＆貝掘り：7月16日（日）実施。 5月の最適期がG7サミットの影響で立入り禁止となり、7月に実施。 参加者41人（うち12歳未満17人）、スタッフ9人、計50人。 ②アマモ場育成実験事業 宮島学園にアマモの水槽を設置し、1年を通じて観察できるように管理。 アマモの苗を植えて繁殖を試みている。 ③宮島海岸清掃 誰でもできる海岸清掃：6月10日（土）腰細浦海岸の清掃 参加者37人（うち12歳未満8人）、スタッフ13人、計50人。 回収ゴミ136.3kg 生物観察会：子ども向け磯の生物観察と、浜の植物ハマゴウ・ダイオウゲキの観察を実施。 海路清掃9月9日（土）：青海苔浦海岸の清掃 レンタルボート1隻を含め3隻で陸路がない青海苔浦海岸へ上陸し、清掃をし、回収したゴミを持ち帰った。 参加者・スタッフとも25人。回収ゴミ42.6kg



世界遺産クリーン作戦 ⑫ ~宮島をきれいに~ 腰細浦海岸 2023.6.10



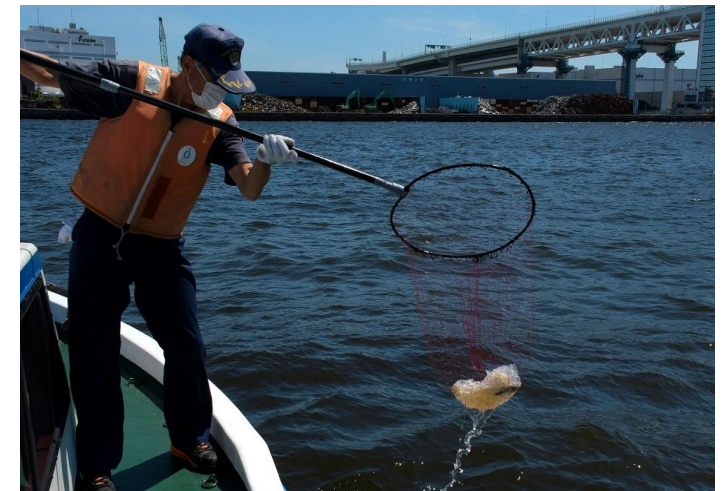
海路清掃③ 青海苔浦海岸

2023.9.9(土)

神奈川海難救助隊（神奈川県）



活動内容	船舶で隊員及び一般ボランティアが、海洋浮遊ごみ等を玉網を使い甲板上から回収
活動実績	〔活動内容〕 1回目 日時：4月2日（日）9時00分～15時30分 場所：本牧埠頭等方面、参加人数：隊員7人、浮遊ごみ回収総量：20kg 2回目 日時：5月14日（日）9時00分～15時00分 場所：東京港港等方面、参加人数：隊員5人、ボランティア2人、浮遊ごみ回収総量：3.5kg 3回目 日時：6月4日（日）9時00分～15時30分 場所：羽田沖等方面、参加人数：隊員6人、ボランティア3人、浮遊ごみ回収総量：67.5kg 4回目 日時：7月16日（日）9時00分～15時00分 場所：小柴漁港等方面、参加人数：隊員6人、浮遊ごみ回収総量：3kg 5回目 日時：8月6日（日）9時00分～15時40分 場所：船橋港等方面、参加人数：隊員4人・ボランティア5人、浮遊ごみ回収総量：61.5kg 6回目 日時：9月3日（日）9時00分～15時30分 場所：木更津港等方面、参加人数：隊員7人・ボランティア4人、浮遊ごみ回収総量：33kg 〔活動効果〕 毎月1回の浮遊ごみ回収活動を合計9回実施しました。隊員参加者35名とボランティア参加者は14名で浮遊ごみ回収総量は188kgでした。 これらの活動を実施したことで、一般市民等の安易なごみのポイ捨てや不法投棄等が減少したと考えられます。



湘南クリーンエイドフォーラム（神奈川県）



活動内容	ごみを拾いながらごみの動向を調査しごみの発生抑制に繋げていく『調べるビーチクリーン』を根源療法として用い、広域エリアを網羅する効率的な保全体制の構築を目指します。神奈川の150kmの海岸を一貫清掃・調査する『ビーチクリーン駅伝』と、多くの団体と協同開催する一斉ビーチクリーン『オールオーシャンラバーズビーチクリーン』との相乗効果を図り、多様な団体がワンボイス化した連携体制を築きます。
活動実績	■毎月調べるビーチクリーンを実施 ■活動準備：ビーチクリーン駅伝実施に向けた準備の推進(資料作成、下見活動、参加者募集) ■普及啓発：環境問題を啓蒙し当該プロジェクトの実施意義を普及啓発(セミナー、研修会) ■広報活動：プロジェクトの実施効果を上げるため広報活動を推進（HP改良、メディア取材対応） ■連携活動：他団体、他セクターとのネットワークの構築を推進（共催イベント開催、意見交換）



河北潟湖沼研究所（石川県）

活動内容	海岸も含めた河北潟流域の水辺のゴミ減少、発生抑制を目指し、ゴミ拾い、ゴミ調査、リサイクルや河北潟の自然環境を学ぶイベント、啓発活動を行う。
活動実績	1. 河北潟クリーン作戦 2023年4月16日（日）9：00～10：00実施 河北潟の湖岸9地点でゴミ拾いを実施した。全9地点の参加者は合計858名であった。約3.1トンのゴミが河北潟から回収された。 2. 川渡りとゴミ拾い 2023年7月15日（土）9：00～12：00実施 河北潟本湖森下川河口左岸でゴミ拾いとゴミ調査を実施した。当初7月9日に潟の中を歩く体験と共に実施予定であったが、大雨のため15日に延期して実施した。15日前日も大雨となり、水の濁りがひどかったことから、歩く体験はとりやめ、湖岸のゴミ拾いを実施した。9名が参加し、27.8kgのゴミを回収した。 3. 河北潟カヌー体験・カヌーでゴミ拾い 2023年8月27日（日）8：30～12：00 河北潟本湖森下川河口付近でカヌー体験をしながら湖面からのゴミ拾いを実施。19名が参加し、27.8kgのゴミを回収した。



荒川クリーンエイド・フォーラム（東京都）

活動内容	2025年の大阪・関西万博開催を契機に荒川で一定の実績を積んだ「産学官民協働持続方式」を関西圏に技術移転する。 1.ごみゼロ共創ネットワーク（主幹：京都超SDGsコンソーシアム）としてつながり、関西圏プラットフォームの基盤強化、 2.当該方式を通じた自治体/市民/企業の協働構築、 3.ボランティアによるごみ回収量の見える化（ごみ拾いSNSピリカやごみマップアプリ）を推進した。 また、現地にて大阪府環境保全課および脱炭素・エネルギー政策課と意見交換した。企業の連携についてはプラごみ問題のコアなステークホルダーの日本プラスチック工業連盟と協調中である。
活動実績	▼淀川水系ごみ拾い見える化マップの整備 以下、整備し、プレスリリースを発信した。 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000105334.html ▼行政/自治体との意見交換 7.4大阪府咲洲庁舎にて環境農林水産部系部署と意見交換した。 大阪府からはネットワークを拡大してほしいと前向きな意見があった。 ▼現場活動 9.16（World Cleanup Day）に（株）ピリカと共催し、現場活動を開催した。 場所：荒川河川敷（江戸川区） 参加人数：20名程度、環境省およびエフピコの皆さんを含む企業複数社 内容：河川ごみの除去活動および（株）ピリカのサービスを企業に紹介した。 ▼オンライン環境講話 5.27のBeyondカンファレンス、9/23海のSDGs会議にて当該事業について動画等を紹介した。 参加者所属概要：アビームコンサルティングやリコーージャパンなどから反響があった。 関西関連の活動がきっかけになりアビームコンサルティングは荒川での清掃を11月に計画している。



瀬戸内海宇治島クラブ（広島県）

活動内容	瀬戸内海国立公園内に位置する無人島「宇治島」の豊かな自然を守るため、毎年海の日には200人乗りのフェリーをチャーターし、福山港から宇治島に渡り砂浜に漂着した海洋ごみの清掃を行っている。清掃後は海水浴や釣り、島の散策を行い宇治島の魅力を体感してもらう。
活動実績	活動日時：2023年7月17日「海の日」 活動場所：広島県福山市走島町宇治島 参加人数：120名 活動内容： 1.清掃活動とともに、海面浮遊ゴミや漂流物の現状を知り参加者に瀬戸内海の環境保全の重要性を学んでもらう。 2.実際に回収した浮遊ゴミをみてもらい身近なゴミが流れ着いていることを認識してもらう。 3.自由時間には宇治島の自然の魅力を感じてもらい瀬戸内海の魅力を感じてもらい。 清掃活動を行うことにより、宇治島や瀬戸内海の環境美化に貢献し、さらに収集したごみの分類調査を行うことによってプラスチックごみを中心に深刻化する海洋ごみの問題意識を深め、参加者全員が行動を起こすきっかけとなった。また、海浜清掃などの環境啓発活動を行うとともに自然とのふれあいを通じて島の魅力を伝えることにより、青少年の健全育成に寄与した。



エシカルプロジェクト（埼玉県）

活動内容	循環型社会の実現に向け、生ごみコンポストの推進、啓発活動。 コンポスト堆肥を利用したコンポストファームと収穫体験。
活動実績	2023.4.3 段ボール回収活動（本庄市、活動人数2名） 2023.4.3 コンポスト会議＆基材づくり 2023.4.16 フードロス標語の大賞プレゼント企画（埼玉県、活動人数8名） 2023.5.2 段ボール回収活動（本庄市、活動人数3名） 2023.5.15 コンポストブースイベント開催（本庄市、活動人数8名） 2023.6.13 段ボール回収活動（本庄市、活動人数2名） 2023.6.13 コンポスト会議開催（本庄市、活動人数8名） 2023.6.27 コンポスト基材づくり（本庄市、活動人数4名） 2023.7.5 コンポストブースイベント開催（本庄市、活動人数4名） 2023.7.5 コンポストファーム苗植え（本庄市、活動人数4名） 2023.7.30 養護施設の子供たちと収穫体験（本庄市、活動人数18名） 2023.9.3 コンポストブースイベント開催（本庄市、活動人数4名） 2023.9.6 段ボール回収活動（本庄市、活動人数2名） 2023.9.18 コンポスト会議、基材づくり（本庄市、活動人数5名） 沢山に方にコンポストの大切さを伝え、その堆肥を使い野菜を育てる活動効果は、第一に生ごみを捨てないという気づきを生み、ごみの削減や廃棄物処理に対する環境負担を軽減しようとボランティア活動に繋がりました。



肥後の水とみどりの愛護基金（熊本県）



活動内容	・水源涵養林「阿蘇大観の森」の植樹、下草刈り ・水田湛水事業「阿蘇水掛の棚田」の田植えほか
活動実績	・4月8日（土）阿蘇大観の森第18回植樹 150人参加 モミジ ヤマザクラの苗木1,550本を植樹 ・5月13日（土）阿蘇水掛の棚田 第13回肥後銀行田植え 134名参加 ・5月8日(月)～5月20日(土) 稲作企業ボランティア12社による田植えを実施 450名参加 ・6月9日(金)～9月30日(土) 阿蘇水掛の棚田 地下水涵養量調査（データ取得） ・7月4日（火）熊本県立芦北高校のアマモ研究室、海での観察に同行 当財団から2名参加 ・7月22日（土）阿蘇大観の森 下草刈り 50名参加 ・8月31日(木) 阿蘇水掛の棚田に「ライブカメラ」を設置 ・9月1日(金) 阿蘇水掛の棚田に「気象センサー」を設置 ・4月～9月 熊本県下 湧水の水質調査 定例18先 毎月実施 教育旅行講義 ・「未来につなぐ水の話」のテーマで期間中4回実施 参加者291名 （高校1、中学校2、小学校1）



ひらかた生物飼育部 L A B O (大阪府)

活動内容	大阪府枚方市穂谷地区の耕作放棄水田を冬期湛水の水田として蘇らせ、湿地ビオトープとしての役割を復活させることで現地の希少な両生類の生息地を守ることを目的とし、大阪府立枚方高校生物飼育部の高校生たちとともに月に1～2回の里山整備活動を継続している。また、地域のイベントにて生き物展示を積極的に行い、活動報告や環境教育を行っている。
活動実績	2023/4/29 10名参加、耕耘・畔の整備・草刈り・生物調査 2023/5/3～7 枚方ビオルネ、のべ50名参加、集客1110名、生き物展示（移動水族館） 2023/5/13 枚方市駅前『枚方市緑化フェス』、11名参加集客200名、生き物展示（移動水族館） 2023/5/27 7名参加、水田水路の整備 2023/6/3 12名参加、畔の整備、草刈り 2023/6/10 5名参加 ホタル生息調査 2023/6/17 15名参加 田植え作業 2023/7/9 4名参加 畔と水路の整備、雑草抜き 2023/7/15 8名参加 雑草抜き、草刈り、水路整備 2023/7/22 4名参加 雑草抜き、水路整備 2023/8/3 8名参加 雑草抜き、草刈り、水路整備 2023/8/11 枚方市立津田生涯学習市民センター『穂谷川生き物調査隊』11名参加（小学生一般参加20家庭） 小学生とその家族とのフィールドワーク＋生物多様性についての講義 2023/8/26 『ひらラボ里山ユースプロジェクト』12名参加（一般参加9名） 市内中高生を招き入れての里山整備体験ボランティアの受け入れ＋生物調査 2023/9/9 1名 水路の確認、畔の整備 2023/9/16 7名 草刈り、水路整備、 2023/9/23 4名 草刈り、竹の伐採 2023/9/30 1名 水路の確認、畔の整備 2023/10/7 淀川河川敷『ひらかたアウトドアくらわんか』11名 生き物展示（移動水族館） ※参加人数は飼育部ふぁーむより



くりはらツーリズムネットワーク（宮城県）

活動内容	宮城県栗原市の「伊豆沼・内沼」は、ラムサール条約登録指定湿地として、渡り鳥などの鳥類をはじめ、多様な生き物が生息する自然資源です。しかし、伊豆沼・内沼周辺には多くのゴミが投棄されています。そこで、本事業では、伊豆沼・内沼のゴミ清掃に取り組み、伊豆沼・内沼を通じて人々の自然保護への関心を高めることを目的とします。
活動実績	①ゴミ拾いイベントの実施 【日曜日のゴミ拾い】 4月2日（日）9:00～11:30、こんちゅう館、20人、伊豆沼・内沼周辺のゴミ拾い 5月14日（日）9:00～11:30、こんちゅう館、15人、伊豆沼・内沼周辺のゴミ拾い 6月4日（日）9:00～11:30、こんちゅう館、31人、伊豆沼・内沼周辺のゴミ拾い 7月2日（日）9:00～11:30、こんちゅう館、47人、伊豆沼・内沼周辺のゴミ拾い 8月6日（日）9:00～11:30、こんちゅう館、23人、伊豆沼・内沼周辺のゴミ拾い 9月3日（日）9:00～11:30、こんちゅう館、49人、伊豆沼・内沼周辺のゴミ拾い 10月1日（日）9:00～11:30、こんちゅう館、42人、伊豆沼・内沼周辺のゴミ拾い 【その他のイベント】 10月28日（土）11:00～12:00、淡水魚館、JTB地球いきいきプロジェクト、27人、伊豆沼・内沼周辺のゴミ拾い ②伊豆沼・内沼ゴミ拾いステーションの整備 9月8日（金）8:30～12:00、こんちゅう館、ゴミステーション（プレハブ）を設置 ③ゴミ拾いサポーターの仕組み 仕組みの検討中 ④セミナー（ワークショップ）の実施 10月28日（土）11:00～12:00、JTB地球いきいきプロジェクト、27人 ※イベント後半にリーブノートレースのセミナーを実施



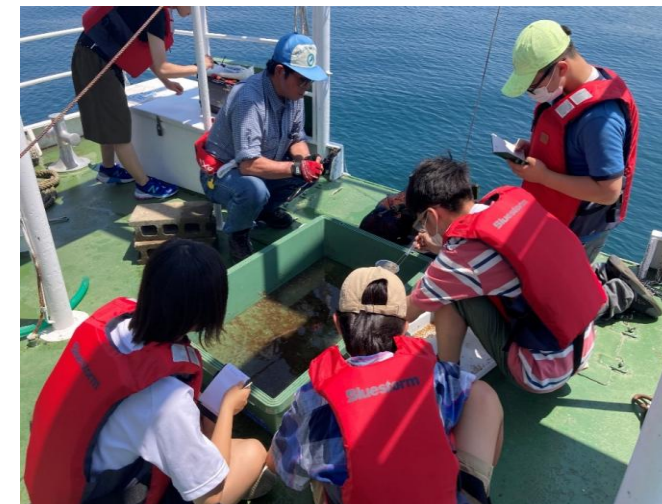
ジョイライフさやま（埼玉県）

活動内容	自然の素晴らしさを体感して体験による自然の中で得る好奇心、知恵など自然を大切にする気持ちを抱いたり自分たちにもできることを実践し成長を育める学びを通して地域や社会の課題解決を通じて住みやすい活気ある豊かな地域と街づくりへと課題解決に取り組む活動
活動実績	5月3日(水)「自然を守り水辺の森遊び自然体験」体験参加者82名 自然保全が進む水辺林を活用して環境保全の大切さを肌で知ってもらう 5月21日(日)「地域公民館の祭りへの後援活動」 河川における美化活動の宣伝もあり、プラやペットボトル、食品トレイ、ビニール袋などリサイクルにより社会、環境を変えていく 6月4日(日)「自然を楽しむ田植え体験」体験参加者48名 6月24日(土)「水辺樹林伐採選定、下草刈りなど整備清掃活動」 助成による草刈機を使い整備草刈を行いました。 6月25日(日)「入間川生き物、水質調査と水辺のごみ収集体験」体験参加者36名 8月6日(日)「入間川生き物、生態系調査と水辺のごみ収集体験」 固有種並びに脅威にさらされる魚類を守るため漂流するごみの調査と収集を行い、生態系維持を図る活動を行う 体験参加者42名 9月17日(日)「収穫の喜び稲刈り体験」 地域農家の指導食育学習、毎日の生活の中で普段食べているお米がどのように作られているのかを知り、食に対する感謝の気持ちを育てる 体験参加者14名 9月21日(木)「埼玉未来大学員研修NPO勉強会」



びわ湖トラスト（滋賀県）

活動内容	(1) 琵琶湖でのマイクロプラスチックの調査 (2) 7月30日に琵琶湖岸漂着ゴミの回収と分別を行いました。 本事業は、琵琶湖周辺の自治体や株式会社エフピコの社員ともコラボしました。 (3) 9月23日に国際シンポジウム（立命館大学）で研究成果を発表をしました。
活動実績	(1) 琵琶湖でのマイクロプラスチック調査 4月23日 参加人数：15人 5月20日 参加人数：13人 7月22日 参加人数：16人 9月17日 参加人数：13人 9月24日 参加人数：14人 活動内容 1トンの水を採水してマイクロプラスチックを数えました。 (2) 琵琶湖漂着ゴミ調査 活動日時：2023年7月30日（土） 9時45分 マキノグランドパークホテル駐車場集合～12時30分終了 場所：琵琶湖北湖マキノ知内浜 距離2.0km 参加人数：50人（内 エフピコ関係者9名） 内容：湖岸に漂着しているゴミを回収し 内容物を分別し、主にプラスチックゴミの計量・特定を行いました。 (3) 国際シンポジウムの開催 日時：2023年9月23日（土） 場所：立命館大学ローム記念館大会議室 内容：私たちは何を学び、何を伝えるか？ 参加者：121名



とす市民活動ネットワーク (佐賀県)

活動内容	未就園児親子を対象にもくもく広場の実施：年8回開催、参加予定：500人
活動実績	〔活動日時〕 ①令和5年4月20日(木) 10:30~11:00 ②令和5年5月18日(木) 10:30~11:00 ③令和5年6月15日(木) 10:30~11:00 ④令和5年9月21日(木) 10:30~11:00 〔場所〕 フレスポ鳥栖ウエルカムコート 〔参加人数〕 ①81人 ②73人 ③76人 ④99人 〔活動内容〕 佐賀県産積み木・国産木のおもちゃのあそびの広場と小度立て中の親達の交流の場として開催。 鳥栖市子育て支援課による出張各種相談対応と市内子育て支援センター案内パネルの展示 〔活動効果〕 ・NPO、企業、行政との協働により実施することにより事業の周知が徹底できた。 ・日頃体験できないたくさんの木製玩具に触れることで、木製品や森林への興味をかき立てることが出来た。 ・転勤者の多い鳥栖市において、子育て情報や相談を出来る場の提供ができ安心して子育てに取り組む事ができた。



みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（宮城県）

活動内容	○小学校からの相談と学習支援 ○外部からの相談と支援 ○ウェブサイトでの情報発信
活動実績	(1)仙台市立芦口小学校・環境学習（5年児童57名、教員2名） ・グリーンカーテンの支援 ・環境学習の支援：気候変動の出前授業、ケンタロ・オノ氏によるキリバスと温暖化の出前授業 (2)仙台市立長命ヶ丘小学校・地域共生（5年児童69名、教員2名） ・グリーンカーテンの支援：気候変動とグリーンカーテンの出前授業 (3)仙台市立八木山小学校・職員研修（教員30名） ・テーマ「持続可能な社会の創り手を育てるための外部連携」 ・話題提供「みやぎのSDGs環境学習支援」、ウェブ教材「家庭でできる！気候変動対策」の試用、ワークショップ「どんな外部連携が考えられるか」 (4)仙台市立八木山小学校・気象と防災（5年児童85名、教員3名） ・気象予報士・星野氏による気象と防災の出前授業 (5)仙台市立中野栄小学校・自分づくり（6年児童73名、教員2名） ・ケンタロ・オノ氏によるキリバスと温暖化の出前授業 (6)仙台市立北六番丁小学校・川環境（5年児童49名、教員2名） ・ケンタロ・オノ氏によるキリバスと温暖化の出前授業、梅田川リバーウォークの出前授業を予定。 (7)仙台市立七郷小学校・まちづくり（6年児童119名、教員3名） ・海洋ごみ、スウェーデンのSDGsな暮らしの出前授業を予定。



ヘチマの苗植え・芦口小学校（6/13）



伊達武将隊と効果測定・芦口小学校（8/31）

小泉ユニバーサルビーチユニット（宮城県）



活動内容	小泉地区の子供達の体験プログラムで山・川・海・ビオトープを清掃し、ゴミの種類・重量を各場所ごとに調査しレポートにする。それを住民に共有していき、子供から大人の意識を変える。
活動実績	○小泉ビオトープクリーン 日時：5月13日（土）9：00-11：00 場所：外尾川河口（ビオトープ） 人数：大人10人・子供2人 内容：可燃ゴミ1袋・不燃1袋 ○津谷川リバークリーン 日時：6月11日（日）9：00-11：00 場所：津谷川河口 人数：大人13人・子供5人 内容：可燃7袋・不燃4袋 ○小泉海岸ビーチクリーン 日時：7月9日（日）9：00-11：00 場所：小泉海岸 人数：大人80人・子供12人 内容：可燃9袋・不燃3袋 ○田束山マウンテンクリーン 日時：8月20日（日）9：00-11：00 場所：田束山 人数：大人8人（子供コロナ蔓延により学級閉鎖中の為、不参加） 内容：可燃4袋・不燃5袋



こもれびの里（岡山県）

活動内容	被災地の里山整備。伐採した竹を竹炭にし、竹炭パウダーを作り夏休みに小学生ファミリーを募集し、「バンブーチャレンジファミリーDAYキャンプ」を開催した。
活動実績	4月、5月に竹林整備で竹を伐採した。 4月は筍が生える時期で、古い竹を伐採していった。 山から、作業所に運び竹を30cmぐらいにカットし、竹炭を作った。 そこから粉砕機に入れ、細かくし小麦粉と同じサイズの竹炭パウダーを作成した。 夏休みの行事で「バンブーチャレンジファミリーDAYキャンプ」を開催し、竹炭ピザを作り皆さん喜んで食し、竹馬や竹ぽっくりなど、竹のおもちゃで遊んで帰った。 アンケートでは、竹で遊ぶのが面白かった、竹炭パウダーのピザがおいしかった、などまた来年も参加したいと言われる声がたくさんあった。 ボランティアと参加者合わせて60人以上の方が参加した。



みんなでびぜん（岡山県）

活動内容	日生諸島の海ゴミ0作戦
活動実績	日時：令和5年8月20日(日)9:30～13:00 集合：日生駅前港 清掃場所：鹿久居島の再南東端の海岸 人数：126名 参加者：一般の親子、地域の団体、ボランティア協会の大学生、環境省、岡山県、備前市 内容 道路がなくアクセス困難な海岸に、上陸船を栈橋代わりにして、そこへ乗客船をつけて着岸し漂着ゴミの回収を行いました。漂着ゴミの回収は燃えるごみ、資源ごみ、粗大ごみに分別して、燃えるゴミは上陸船に乗せたパッカー車へ、資源ごみはトラックへ、粗大ごみは産廃業者へ引き取って頂きました。 効果 ・アクセス困難な海岸への漂着ゴミの回収、大人数で船を活用したので海岸にある多くの漂着ゴミを回収出来ました。 ・一般参加者の人からは、こんな身近な島に多くの漂着ゴミが流れ着いている事を知って驚かれていました。 ・身近に環境問題があることをこのイベントで認識して頂いた。 ・瀬戸内海は閉鎖的海域のため多くのごみは地域から出ており、参加者一人一人が日常生活でゴミを出さないように考える機会になりました。



Team JIN「仁」 （広島県）



活動内容	提出待ち
活動実績	提出待ち

吉里吉里国（岩手県）

活動内容	【森林教室の実施計画】 スケジュール：月1回、年間12回 対象：大槌町内の小中高生、未就学児、支援学級児童、その家族 目標人数：約300人
活動実績	●2023年8月1日(火) @大槌町吉里吉里公民館 町内の小学1～6年生50名 吉里吉里公民館夏の子ども教室、吉里吉里学園小学部と連携して実施 【内容】薪割り体験（屋外）、木工教室「大槌の木に絵を描いてトンカチで組立てよう」、海と山のつながりのお話 ●2023年8月17日(木) @大槌町中央公民館 町内の小学1～6年生13名 大槌町中央公民館、学童ぽこあぽこと連携して実施 【内容】木工教室「大槌の木に絵を描こう」、海と山のつながりのお話 ●2023年9月1日(金) @海が見える森林内 吉里吉里保育園年長組16名 吉里吉里保育園、ツリークライミングジャパンと連携して実施 【内容】ツリークライミング体験、砂浜であそぼう、海と山のつながりのお話 ●2023年9月21日(木) @大槌町立大槌学園図工室 町内の小学1～6年支援学級児童19名 大槌町教育委員会、町立大槌学園支援学級教員らと連携して実施 【内容】木工教室「大槌の山と海のおくりものづくり」、海と山のつながりのお話



フードバンクさが（佐賀県）

活動内容	①学ぶ：食品ロス問題を処理施設や堆肥化から学ぶ。 環境問題を実感し行動につながる（見える化）施設見学。食を楽しむための工夫を学ぶ。 ②体験：食と環境の大切さを実感する農業と収穫物の保存・調理方法を生産者の指導のもと実践する。 ③つながる：参加支援：社会とのつながりを構築し人と物を循環させるべく、生産者と消費者、支援者と被支援者の交流と協働を促し農業や食育の現場を整えていく。 ④伝える：体験したことや、学んだことをSNSやマスコミ等を通じてより広く伝えていく。
活動実績	*前年に引き続き富士町の畑でジャガイモの栽培を継続 4月7日（金）防草マルチの張り直しとジャガイモの芽かき作業 4人 4月15日（土）Jリーグサガン鳥栖の試合前にフードドライブを実施 スタッフ8人 来場50人程度 4月27日（木）除草作業 3人 5月14日（日）ジャガイモの生育具合を確認、収穫時期の打合せ 3人 5月19日（金）収穫イベントと贈呈式の打合せ 2名 6月13日（火）収穫作業打合せと贈呈式への協力をお願い 3人 6月15日（木）試し掘り、収穫準備作業 3人 6月16日（金）コンテナ運搬等収穫準備作業 3人 6月17日（土）高志館高等学校の生徒さんと共にジャガイモ収穫作業 18人 同日午後、収穫しきれなかったジャガイモを地域の方々とも協力して収穫 6人 6月18日（日）更にジャガイモ収穫作業 5人 6月24日（土）片付け作業 4人 6月30日（金）活動紹介 スタッフ2名 受講者30人 7月14日（金）翌日開催されるこども食堂「さんどカフェ」にジャガイモを提供し打合せ 2名 7月15日（土）「さんどカフェ」に高志館高等学校の生徒さんとボランティア参加しあわせて贈呈式 スタッフ7人 参加者約150名 7月16日（日）佐賀市金立町の畑を見学 5人 8月5日（土）「味楽こども食堂」にて雪印メグミルクの食育イベントを実施 フードバンクさかの食育活動として本事業の紹介 スタッフ2名 参加者20名 8月26日（土）Jリーグサガン鳥栖の試合前にフードドライブを実施 スタッフ7人 来場40人程度 9月30日（土）鳥栖市駅前不動産スタジアムJリーグサガン鳥栖の試合前にフードドライブを実施。 サガン鳥栖の選手も参加。当日はゼロカーボンチャレンジということで食品ロス削減についてラジオ出演も行った。 スタッフ3名 来場50名



百菜劇場（滋賀県）

活動内容	有機農業の体験受け入れと、農舎建築に向けたプラン検討および建築トライアルの実施
活動実績	【活動1】有機農業を体験する ○お米づくりのプロセスにおいて、地域住民や学生の体験受け入れをした 4月28日、29日 種まき、苗おろし。参加者/地域住民16人 5月後半～6月 田植え。参加者/地域住民20人、京都橘大平賀ゼミ学生17人 7月～9月 除草。参加者/地域住民12人 9月17日、18日、30日 稲刈り。参加者/地域住民19人 ○農業体験用レンコン畑の整備を賛助会員とともに行った 4月16日 種レンコン掘り、植え付け。参加者/賛助会員6人 6月9日 有機肥料まき、草刈り。参加者/賛助会員4人 9月3日 草刈り。参加者/賛助会員3人 【活動2】自然素材を使った農舎をつくる ○プラン検討および作成、見積もり 6月23日 現地調査。参加者/京都大学小林教授、研究室助手および学生、廣部 8月21日 ラフプランup 8月21日および29日 zoomミーティング。参加者/小林教授、中谷監督、廣部 8月29日 材料拾い出し用図面up 8月後半～9月前半 材料拾い出し、詳細見積もり依頼およびまとめ ○農舎建築 9月27日 農舎建築トライアル現地打合せ

